

一般質問

町政を問う

今回6名が質問し、
その要約を掲載しました。

杉山 清 議員 …………… 9

1. 水害対策について
2. 町の医療対策について

桜井 和子 議員 …………… 10

1. 高齢者対策について
2. 乳がんの早期発見について
3. エンディングサポート事業について
4. 布団の処理について

加藤木 直 議員 …………… 11

1. 公用車の管理について
2. 地域資源を活かした活性化推進事業について
3. 各施設のトイレ整備について

藤咲 芙美子 議員 …………… 12

1. 台風19号の対応について
2. 健診の要精密検査について

菌部 一 議員 …………… 13

1. 大網地区のペット霊園造成について
2. 河川の土砂等の除去について
3. 有害鳥獣駆除について

河原井 大介 議員 …………… 14

1. 災害対策について（震災、火災、水害）
2. J2(株)水戸ホーリーホックの報道について
3. 黒沢止幾生家調査事業の進捗状況について
4. 桂(仮)支所について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。



杉山 清 議員

水害対策について

《町長》機動的に動けるような消防、水防組織のあり方をこれから詰めていきたい。

杉山 那珂川期成同盟会（茨城県）と、栃木県11ヶ所のダムと情報、連携はどのようになっているのか。

町長 茨城県（ダム検討部会）で連携、治水対策を検討し進めていく。

杉山 町内の一級河川と小河川の無堤防、仮堤防の整備及び河川内の立木伐採は早急な課題と思うが。

町長 支流を含め、那珂川水系河川整備計画の再検証に基づく河川改修事業の促進を強く要望していく。

杉山 町内には、那珂川に2ヶ所樋門があるが、固定型排水ポンプと調整時の赤色灯の設置ができないか。

町長 固定型排水ポンプについては、

今後とも要望していく。赤色灯は国と協議していく。

杉山 根固屋橋架け替えは再三再四の質問である。坏地区の被害を最小限にするには、排水の確保が必要では。

町長 何度も質問をいただいている。これが最期のチャンスと思う決意で、県へ要望していきたい。

杉山 今回の台風で、坏地区の半数位が孤立や浸水し、避難にも困難を来した。坏小学校跡は避難所に指定されているが、避難所として不備がある。指定の役割をどのように考えているのか。

町長 坏地区の方は、早めにコミセンへ避難、今回はケアステーション城里地域交流館）が自主避難所とし設置された。

今後は粟地区は桂公民館への避難をお願いしたい。

杉山 町内には、内水対策が必要な地域があるが、検証・解決策を伺う。

町長 住民の方と協力し、通常の土砂が流れるだけでなく水が流れるよう対策を取っていきたい。

杉山 今回の水害を踏まえ、水難に特化した水防団または消防団に水防班を創設してはと思うが。

町長 地域住民等に水防の重要性の周知、河川の危険箇所巡回と点検、避難誘導と、専任水防団の必要性は大いに痛感するところであり、機動的に動けるような消防、水防組織のあり方をこれから詰めていきたい。

杉山 高齢者の多い当町にとって、医療機関の充実が一点のともろびである。最近、有床医療機関の縮小との情報が確認されたが、町は確認しているか。

町の医療対策について

《町長》維持できるよう相談等には乗っていく。

町長 休床とのことだが、今後も町の医療サービスが維持できるよう相談等には乗っていく。



台風19号による被害（下坏地区）

高齢者対策について (電動車椅子の購入助成)

《町民課長》県内市町村の動向を参考にしながら検討していく。



さくらい かずこ 議員
桜井 和子



桜井 高齢者の移動の手段としてデマンドタクシーが活用されているが、待っているのが大変との声もある。高齢者の足になる電動車椅子の購入に助成ができないか。

町民課長 今後、県内市町村の動向を参考にしながら検討していく。



電動車椅子

乳がんの早期発見について

《健康保険課長》
啓発用品として検討する。

桜井 乳がんの早期発見に効果のある乳がんグローブの配布はできないか。

健康保険課長 女性が罹患する第1位は乳がん
で、町では30歳から受診できる体制を取っている。乳がんの6割以上がセルフチェックで発見され早

期発見ができれば9割が治るとされている。乳がんグローブは特殊な素材で、素手よりも感度が高く異常を見つけやすいといわれている。受診率の向上に繋がるよう啓発用品として検討する。

エンディングサポート事業について

《町長》
今後の施策として検討していく。

桜井 先進的な取り組みをしている横須賀市では2015年に終活事業を開始している。町の終活支援に対する取り組みを伺う。

町長 高齢者が最後までその人らしい人生を送ることができるよう今後の施策として検討していく。

桜井 町営の墓地や納骨堂のない本町において、引き取り手のない遺骨はどのようにしているのか。

福祉委員 毎年の供養料を予算計上し町内2ヶ所の寺に供養をお願いしている。

布団の処理について

《町民課長》
自宅まで回収に行く事業を計画している。

桜井 布団の処理について町長より、新ごみ施設建設にあわせてごみ分別収集計画の中で検討課題としていくとの答弁だったけどどこまで進んでいるのか。

町民課長 パッカー車等で一般ごみと一緒に回収すると水分を

吸ってしまい焼却施設の負担が大きくなるため、従来通りの処理になつていますが、試験的に1日布団回収日を設け、車のない高齢者世帯を対象に、自宅まで回収に行く事業を計画している。

※現在は・・・
2月下旬頃より順次回収予定です。
(要申込)
詳細については、役場ホームページまたは広報しるさと「お知らせ版」1月号をご覧ください。



かとうぎ ただし
加藤木 直 議員



公用車の管理について

《財務課長》ドライブレコーダーの段階的な整備を検討する。



加藤木 公務中の事故の検証や防犯カメラとしてドライブレコーダーを各車両に装着してはどうか。

財務課長 現在152台の公用車があり、3台に装着されている。事故発生時のトラブルを考慮し、今後導入する公用車を対象に段階的な整備を検討する。

加藤木 公務中の事故は、年間のどれくらいあるのか。

財務課長 毎年5〜6件くらいの事故がある。

地域資源を活かした活性化推進事業について

《町長》 振興に協力していきたい。

加藤木 食の世界遺産に認定されているレッドポアローと町の関わりは。

町長 歴史あるもので連綿と受け継がれてきた。交流事業などでも人気があり売込みを図ってきた。

農業政策課長 全国ネギサミットなどで知名度の向上を図ってきた。今後関係機関と連携し、地域ブランドとして商標登録も検討していきたい。

加藤木 伝統工芸である栗野春慶塗、桂ひなについて町との関わりは。

町長 重要な工芸品であり、伝統工芸士認定の意見書を県に提出し支援してきた。



レッドポワロー

加藤木 食の世界遺産に認定されているレッドポアローと町の関わりは。

町長 歴史あるもので連綿と受け継がれてきた。交流事業などでも人気があり売込みを図ってきた。

農業政策課長 全国ネギサミットなどで知名度の向上を図ってきた。今後関係機関と連携し、地域ブランドとして商標登録も検討していきたい。

加藤木 伝統工芸である栗野春慶塗、桂ひなについて町との関わりは。

町長 重要な工芸品であり、伝統工芸士認定の意見書を県に提出し支援してきた。

各施設のトイレ整備について

《教育長》 計画的な整備を検討していく。

加藤木 町内各施設のトイレ整備について伺う。特に災害時避難者の多いコミュニケーションセンターは急務では。

教育長 高齢者や障害を持った方々の利便性を重視し、手すりの装着、和式の洋式化など、計画的な整備を検討していく。

加藤木 小中学校のトイレの洋式化が必要と思うが、現況を伺う。

教育長 全国平均よりも洋式トイレの設置率が高い。今後、設置率の低い学校を対象に整備していく。

加藤木 常北小の職員トイレ整備について過去二人の議員が質問しているが、どのように検討されているか。

教育長 来年度の予算に設計の経費を計上する。

加藤木 職場環境は劣悪だ。設計工事費を計上していただきたい。



台風19号の対応について



藤咲 芙美子 議員



《町長》一人の人的被害も出すことなく水害を乗り切った。

藤咲 台風19号の対応について、今回の経験をきちんと分析、検討して教訓を引き出すことは避けられない。特に苦勞されたボランティアの人たちや役場職員たちの苦勞を次に生かすためにも必要だ。災害の際に町民の安全を確保するため、町民の危機回避の対応策は適切であったか。

総務課長 10月12日午前8時35分に災害対策本部に切り替えた。早期に指定避難所の開設や避難準備、高齢者等避難開始の発令を出し危機回避の指示を実施した。
町長 一人の人的被害も出すことなく水害を乗り切った。
藤咲 梅の杜住宅では13日午前5時頃から西田川の水位が



環境センターに集まった被災ごみ

一気に上がり逃げ道をふさがれ、草をかき分けながら後ろの崖を必死によじ登ったと聞いた。町はこのような状態を把握していたか。住民への危険の通報をどのように行ったか。

総務課長 崖を登っての避難はかなり後から聞いた。夜中ということもあり、人員も足りず、現場に出



られず的確な判断は難しいものがあった。
藤咲 風が強くても暗いときでも、命を落とすかもしれないときは避難をしなければならぬ。不適切な対応ではなかったか。
対策本部を設置する条例及び施行規則が定められている。機

那珂西地区 梅の杜住宅 後ろの崖

町長 能したのか。すべてにおいて100%ではなかった。
藤咲 命に関わる災害対策は思いつきでできるものではない。住民に向き合った対策をしっかりと行うべきだ。
《町長》 体制整備を続けていきたい。
藤咲 要精密検査の指示を受けても3割の方が再検査を受けていない。町の丁寧な対応で再検査の支援が必要ではないか。
健康保険課長 検査に緊急を要しない限り通知によって受診を推奨している。

健診の要精密検査について



栗地区 那珂川氾濫の様子

藤咲 2次検査を受けてもらう踏み込んだ対応をするには専門職である人員確保が必要だ。
町長 十分なサービスクが行えるよう体制整備を続けていきたい。



大網地区のペット霊園造成について



その べ 菌部 はじめ 一 議員

《町長》 重大な懸念を持っている。



大網地区の現状

増水河川の土砂を残渣処分場に持ち込む

《町長》 建設業者が土砂を残渣処分場に持ち込む

【菌部】 (仮称) 城里ペット霊園造成工事を行っている(株)ライズの許可は今も有効なのか。稲敷市の山林に千葉県内の土砂を搬入し条例違反で逮捕された件と本町で許可している(株)ライズとは関係があるのか。

【町長】 ペット霊園造成工事は周辺住民から懸念や心配の声が多数寄せられている。町は重大な懸念を持っている。毅然たる対応をしている。

【町民課長】 令和元年2月25日付で埋め立てた土砂の全量撤去命

河川の土砂等の除去について

《都市建設課長》 一時的に水分を除去するための保管場所が必要である。

【菌部】 河川に堆積

【都市建設課長】 一時的に水分を除去するための保管場所が必要である。今年度建設残渣処分場及びストックヤード整備検討委員会を設置し、検討している。

令書を通知、同9月2日現場確認、事業主が立ち会って事業は完了した。許可は終わっており有効ではない。

【菌部】 元年9月プレハブが設置され住所が移転された。直後早朝2時3時からダンプカーの動きが活発になった。町の担当者が調査に訪れた際、事業者に罵声を発せられたり、威嚇され職員の安全と職務遂行に支障があったと思われるが、警察や町弁護士に相談し手続はとったのか。無許可で埋め立てならば今後、警察、司法の力で解決すべきだ。

【町長】 司法の手で解決すべき問題だ。警察と連携し、厳重な罰が加えられるよう条例の改正も考えたい。

有害鳥獣駆除について

《町長》 報奨金は、国・県の制度の基づいている。

【菌部】 鳥獣被害対策実施隊には大変ありがたく思っている。しかし高齢化も進んでいる。後継者を育てるためにも希望すれば狩猟免許取得者は無条件で隊に加入できないか。

効果的に実施できるよう、免許取得費用の助成や狩猟者の確保を図る。

【農業政策課長】 委嘱は猟友会の推薦である。有害鳥獣駆除を安全に

【菌部】 成獣と幼獣との捕獲報奨金は同額にならないのか。

【町長】 実施隊への報奨金は、国・県の制度の基づいている。



野生イノシシ

災害対策について (震災、火災、水害)



かわら い だいち 議員
河原井 大介



《町長》 消防団の公用車の貸出については協議していく。

河原井 台風19号の水害への救護活動中に消防団員所有の車4台が水没したが。

総務課長 消防団公務災害補償制度による見舞金を支給した。現在、団員の車の補償は出来ない。

町長 消防団の幹部会議で見舞金の金額を決めた。

河原井 消防団の公務、活動に対して町役場の公用車の貸し出しをしても良いと思うが。

町長 しっかりと協議していく。

河原井 今後の防災と避難訓練（地域、消防団 役場、医療関係者との連携訓練）に向けて防災訓練の充実を図っては。

総務課長 防災訓練は実施する。また、やり方の検討に入る。

J2(株)水戸ホーリーホックの報道について

《町長》 人の流れを町の活性化に繋げたい。

河原井 J2(株)水戸ホーリーホックの100億円のサッカー新スタジアム建設構想のマスコミ報道があったが。報告、連絡、相談はあったのか。

町長 新聞報道が出る前日に、明日記事が出るとの電話があっただけである。

河原井 アツマーレに対しては、設計費、建設費、芝生維持管理費等々、今までに4億円以上のお金が使われ、実態として、城里町が水戸ホーリーホックの為にスポーツセンターになっている。アツマーレの経済効果や、町の活性化、知名度向上等々の数値化も曖昧であるし、水戸ホーリーホックとの協定書（契約書）

黒沢止幾生家調査事業の進捗状況について

《町長》 善意の資金で整備したい。

河原井 今回、議会に対して黒沢止幾生家保存の基本設計が提出されたが。生家を含む周辺整備や文化財資料館としての具体的な計画が提案されているが。

町長 城里町の税金ではなく、生家周

辺の整備予定の土地についても寄付をいただいたり、建設、整備費用についてもクラウドファンディングで、寄付を募る手法、全国から善意の資金で黒沢止幾生家を整備したいと思っている。

桂(仮)支所について

《総務課長》 移転先は、桂公民館を考えている。

河原井 現在、(仮)

桂支所は、桂図書館2階の視聴覚室を利用して。東日本大震災後から表の看板には(仮)桂支所のままである。以前、桂公民館と(仮)桂支所を統合し、桂町民センターの計画があったが進捗状況は。

総務課長 桂支所の移

転先は、桂公民館を考えている。来年度、トイレと消防施設の改修工事を予定している。計画的に改修を実施して、桂公民館に移転し桂町民センターとすることを考えている。